

18歳に選挙権

～ 投票率向上に取り組む ～



えとうちよこ
恵藤千代子
市民クラブ

質

来年夏の参院選から18歳選挙権が実現される。投票率向上策は。

答

総務課長

大分県選挙管理委員会と連携し、三重総合高校での模擬投票や出前授業の実施を要請するなど、投票率向上に向け、国・県と連携を密にした取り組みを進めます。

新たに有権者になる方に選挙権資格取得通知書（仮称）を送りたいと考えています。

質

本市唯一の高校の支援は。

答

市長

本年5月、地域に根ざした特色ある学校づくりを支援するために各団体の代表者で構成する三重総合高校の明日を拓く会が設立され

創立10周年の 三重総合高校への支援は

～ 三重総合高校の明日を拓く会設置 ～



勉強合宿

ました。本年度は、生徒の学力向上に向けた取り組みとして勉強合宿、外部講師招聘事業などに対する支援が決定されました。

県への要請活動では定員確保の要請と併せて、県教委に明日を拓く会の設立趣旨、現在考えている支援策を説明し、今後、相互に連携して支援できる体制を整えたいと考えます。

質

現在考えている支援策とは。

答

市長

本市が持つ地域資源、例えば馬術部があるのは県内で三重総合高校のみです。また、カヌーの会場を持っているなど、ここを生かした特色ある学校づくりができないかと思っています。

三世代同居、近居の促進を

～ 新たな補助制度の創設を検討 ～

質

本市で育った人に地元に残ってほしい。帰ってきてほしいと願っている。三世代同居、近居の促進を。

答

まちづくり推進課長

少子高齢化が進む中、同居、近居をすることで子育てや高齢者の見守りなどの支え合いができることから、Uターン者の同居、近居の促進を支援するための新たな補助制度創設を、市内在住者の皆さんとの整合性を考慮した上で検討していきたいと考えています。

快適な生活環境を次世代へ

～ あらゆる方策を実施、検証し、最善尽くす ～

質

三重原の悪臭問題は本市の重要課題である。市、議会としても避けて通れない解決に向けた現状と今後の対策について伺う。

答 市長

現在行っている対策は養豚場では、消臭効果のあるゼム酢素やマイエンザを豚舎内へ散布し、毎日のこまめな清掃や徹底した場内洗浄を行っています。また、新たに急速堆肥化装置から排出される臭気対策として、

ロックウールと微生物を利用したロックウール脱臭装置の実証試験に取り組んでいます。最終的にはアンモニア濃度を現在の平均200ppmから平均10ppm以下まで軽減できる計画で対策を行っています。

市としては、今できる対策を一つ一つ実践し、地元住民、事業者との連携を図りながら、問題の改善、解決に向けて、あらゆる方策を真摯に実施、検証し、地域住民の快適な生活環境づくりのため、引き続き最善を尽くしていきます。



ひろまさ 正 宏
えとう 衛 藤

三岳会

質

豊後大野市を流れる大野川水系の河川整備、水質保全、生態系をどう守っていくのか伺う。

答 市長

水質保全は、大野川水系での水質測定を県などが実施しており、

ほとんどの地点で環境基準を満たしています。地域の河川環境や生態系などを保全するために、清掃活動、川辺に花いっぱい運動、不法投棄防止、廃食油の適正処理など、さまざまな活動が地域で実施されています。各地域

での活動を通して、河川の豊かな水環境などが守られています。市としては、今後とも各団体や県などとの連携を十分図りながら、河川の環境保全や水質保全などに努めています。と考えています。



三重川（市役所付近）